

八王子市立由木東小学校 放課後英語活動プロジェクト

(八王子市放課後子ども教室)

2月22日(水)、24日(金)の2日間、八王子市立由木東小学校の放課後子ども教室にて英語活動のプロジェクトを実施しました。この企画は『八王子市放課後事業プロジェクト』として八王子市教育委員会からお声がけいただいたもので、市内の小学校の放課後子ども教室において活動を行うものです。この度は由木東小学校の放課後児童会で英語活動をさせていただけることとなり、「子どもたちに『英語って楽しい!』と思ってもらおう」ことを目標に掲げ、12月から準備を始めました。

まず12月には実施する英語のアクティビティを考案するところから始まり、11個のアクティビティを準備しました。由木東小学校の放課後子ども教室は、対象が1~3年生の児童、時間が1時間ほどであったため、アクティビティは1日目・2日目ともに『英語の歌』『お天気フルーツバスケット』『ジェスチャーゲーム』の3つに絞りました。学校応援プロジェクトのグローバルチームでは、小学生を対象にしたプロジェクトが今年度初めてであったため、リハーサルを3度重ね、小学生に伝わりやすい指示や説明をできているかを互いに指摘し合いました。



そして本番、1日目は19名(1年生6名、2年生8名、3年生5名)の児童が集まってくれました。グラウンドで自由に遊んでいる子どもたちに「一緒に英語の遊びをしない?」と声を掛けて集めることは想像以上に勇気が必要でしたが、「英語だったら少し知ってるよ、Helloとか!」「英語の歌?楽しそう!」と明るく話してくれる子どもたちと接するうちに、学生メンバーも緊張が解けて楽しくなっ

ていきました。『英語の歌』では『Head, Shoulders, Knees and Toes』の歌を、身振り手振りを付けながら歌いました。この歌を知っていた子どもたちも多く、テレビに映し出した動画や大学生メンバーの動きにくぎ付けになり、真剣に踊ってくれる様子を見て嬉しくなりました。

その後は『お天気フルーツバスケット』を実施しました。sunny, cloudy, rainy, snowの4種類のカードを児童1人ずつに配り、自分のカードの単語を言われたら他の椅子に座るというアクティビティで、rainbowと言われたら全員動くというルールにしました。アクティビティの終盤、「次が最後の1回だよ」と言うと、「え~もっとやりたい!」「あと1回だけ!」と声があがるほど、みんな楽しんでくれたようです。メンバーもバスケットの輪に入りながら楽しく活動できました。皆の前で単語を言うのが苦手な児童には学生がそばに行き一緒に言ってあげたり、椅子を押さえて安全確保に努めたりするなど、学生ひとりひとりが主体的に生徒のことを考えて行動していたことも印象的でした。

最後に実施したのは『ジェスチャーゲーム』です。1人がジ



ジェスチャーをして他の人が回答する一般的なやり方とは異なり、2人の回答者以外は全員でジェスチャーするというルールにしました。1人だけでジェスチャーすることに抵抗感を抱く児童がいる可能性を考慮したもので、このルールが功を奏したのか、子どもたちは楽しそうにジェスチャーしてくれました。ジェスチャーする子どもたちが段々と回答者に近づいていってしまうほど盛り上がり、難しいお題には大学生が「“ド”で始まるよ」「“ム”で終わるよ」などとヒントを出しながらサポートしました。



閉会セレモニーでは「See you」の挨拶を練習しました。閉会后子どもたちが帰っていく際に「See you」と言いながらメンバーに手を振ってくれて、「英語を楽しいと思ってもらう」という目標を達成できた気がしました。

このプロジェクトで1番良かった点は、安全に2日間の活動を実施できたことと、2日目に反省点を活かした点だと感じています。1日目に反省会をし、2日目に向けて各アクティビティの担当者が動いてくれたおかげで、2日目はお天気フルーツバスケットをアニマルフルーツバスケットに変更して両日参加の児童が新鮮な気持ちで楽しめるよう改善できたり、走っても滑らないように上履きを持ってきてくれるよう声掛けをできたりしました。その甲斐があり、2日目は1日目よりも多い21名の児童が集まってきて、より楽しく安全に活動できました。

来年度の活動では今回挙げた反省点を活かしながら、子どもたちに「英語って楽しい!」と思ってもらえる活動をできるように、工夫を重ねていきます。

